

IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム第 53 回会合 議事録

開催日時： 2024 年 8 月 26 日(月)17:02-18:28

開催場所： オンライン開催

主催： 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会(JAIPA)
一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)

参加者（五十音順・敬称略）

飯田 陽一	総務省	高松 百合	JPRS
石田 壮一	NTT-BS	田中 和彦	NICT
片柳 早苗	総務省	津村 仁	総務省
加藤 幹之	MK Next	橋川 和利	ケーブルテレビ徳島株式会社
河内 淳子	CFIEC	前村 昌紀	JPNIC
須賀 祐治	Internet Initiative Japan Inc.	松平 直樹	フリーランス
木村 孝	JAIPA	森口 友里	株式会社インターリンク

参加者数 14 名

司会進行： 加藤 幹之

議事録作成：前村 昌紀

資料：

1. [2024 年国内事前会合の進め方](#)

アジェンダ：

1. 本日の打合せの目的確認

- 日本政府からの報告
- IGF マルチステークホルダー諮問グループ(MAG)からの報告
- 本チームの今後について
- IGF 国内事前会合の開催について

2. 前回議論の振り返り

- 第 52 回会合の概要：[第 52 回議事録](#)

3. 宿題の進捗確認

[IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活性化チーム todo 一覧表](#) を参照のこと

4. 日本政府からの報告 [10 分]

- GDC: Rev4 待ち。Silence Procedure の見込み。Rev5 となるかは不明
- 日本政府としてはマルチステークホルダーの議論・検討が不足と認識している
- IGF:Open Forum 2 件、Day 0, Day 1 に今後の IGF 推進、AI のテーマで受諾。
- (UN による GDC ステークホルダーセッションに関する) 高松さんの報告
 - 意見言っぱなしの印象
 - 子どもの人権保護を訴える団体が複数
- クリティカルなところは譲れないわけで、いうべきことは言っていきたい。途上国との調整が控えている

5. IGF MAG からの報告 [10 分]

- 8/20 MAG リモート会議開催
- ホスト国が [オフィシャルサイト](#) 開設（正式ではないとのことだが）。今月末には正式版にしたいとのこと
- 登録（UN にリダイレクト）などはできているが、コンテンツはまだ
- ビザ：有効期間 3 か月なので、expire しないように 9/20 以降の申請を推奨
- ドラフトスケジュールがでてきた。登壇者コンフリクトなどの調整が進むとのこと
- Roman Chukov 氏が UN 事務局員に就任。Judiciary/business track, Music Night を担当とのこと
- 4 つのテーマのメインセッション実施が 6 月の MAG 会議で決定したが、担当グループから概要がでてきて、了承
- DC, NRI セッションの報告
- IGF Mentorship Programme の報告
- IGF Leadership Panel と MAG 連名で GDC Co-Facilitator に、WSIS と別組織の設立などの検討に対する懸念を表明
- 次回会合開催予定：9 月中旬 or 下旬 Summit of the Future の前にできるかどうか。
- Q：Judiciary Track, Business Track に関して情報は出てきたか？
 - 出てこなかった
 - MAG のドラフトスケジュールにもトラックセッション確保の様子が見えない

6. NRI に関する報告 [5 分]

- 当該期間中 NRI 会合開催無し。
 - 8/28 の第 8 回会合では、NRI Main Session に関して、[NRI Meeting 報告](#)記載のタイトルから選ぶ予定。
 - 8/30 に NRIs Collaborative Session on Inclusion の会合が開催予定。
- NRI セッションのモデレータ・登壇者の検討がオンラインで進行中

7. APrIGF に関する情報交換 [10 分]

- 現地参加者：立石さん、加藤さん、堀田さん、上村さん、小畑さん、山崎
- 立石さんからの報告
 - TWIGF/APrIGF 併催。8/20--23 （パラレルトラックだったが rIGF に参加者が流れた）
 - Day 0 には村井さんの基調講演。Day 1 開幕式は副総統とデジタル大臣がお出まし
 - AI 関係が多かった。表現の自由系も多かった。Eco-Internet セッションに登壇
 - Disaster Recovery セッション（大地震などケースがある）
 - （閉幕式発表）644 現地参加（昨年 300 程度）、600 オンライン登録、1,700 オンラインログイン。男女半数弱、それ以外若干。27 セッション
 - 10 名程度日本人が参加
 - 来年ネパール開催。日本の誘致意向を伝えた
- 加藤さんの報告
 - スポンサーに LINE, Meta, Google。セッション登壇、参画も盛ん
 - Vint Cerf ビデオ登壇
 - TWNIC 関係者から日本ともぜひ協力したいとのこと
 - マルチステークホルダー主義セッションを上村さんモデレータとして実施。登壇した

8. その他会議に関する報告／イベント等の情報共有 [5 分]

- 特になし

9. 本チームの今後[10 分]

- 以下の通り報告があった。
 - 定款案の方向性はほぼまとまり、弁護士による最終案が検討され、8/16 に提示。最終確認の委員会会合を日程調整中
 - 定款確定後の手続きについての議論が始まりつつある
- 前回第 52 回会合時点での状況
 - 定款案の最終チェック中
 - 第 16 回準備委員会会合(7/19)
 - JAIPA、JPNIC よりそれぞれ定款案が提出された

10. IGF 国内事前会合の開催について

- 第 1 回プログラム委員会の報告（資料 1）[2024 年国内事前会合の進め方](#)
 - 資料 1 に基づいた説明
 - 位置づけ：2023 のような京都前哨戦ではなく、「国内年次会合」に
 - テーマ決定：一般からも内容が伺えるようなテーマにするべきという議論があった。
 - テーマは本日コンセンサスを得たい
 - 加藤さんより「AI時代のインターネットとデジタル社会」が分かりやすいのではないかと提案

- AI、デジタル社会が耳目を集めやすい、かつ、一般的でよいのでは
- その他特に大きな異論はなく、会合内のコンセンサスとした。
- プログラム委員会におけるセッションのプレストの内容が紹介された
- アイディアの提示、プログラム委員会に対する参画が要請された
- 前々回チーム会合でのコンセンサス：
 - 11月5-8日のうち2日程度を開催候補日とする
 - プログラム委員会を設けることとし、メンバーを募集し、連絡など事務局的作用を持たせる

11. 本日の議論を受けた Todo 確認 [5分]

- 特になし

12. 次回打合せについて [5分]

- 次回アジェンダ（たたき台）
 - 国内 IGF 活動の今後について
 - 国内事前会合の開催について
- 次回打合せの開催時期
 - 9月24日(火)17時から開催することとした。

13. その他

- NICT 田中さんから（口頭、およびチャットで）12月開催の IGF 2024 の Lightning Talk に応募し採択された旨共有。
 - < Delivering Rich Contents via Grassroots Web Server with FTTH >
<https://intgovforum.org/en/content/igf-2024-lightning-talk-43-delivering-rich-contents-via-grassroots-web-server-with-ftth>
 - 個人的な取り組みが特に発展途上国で役立てられるのではという切り口。
 - 現地で発表する予定だが、"Onsite Moderator"が必要とのことで、現地に行かれる方でご協力頂ける方を募集したいとのこと。
- 立石さんから APrIGF の写真が紹介された

以上